

SNS とわたしたちの暮らし

SNSとは、ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、インターネット上で人々が交流し、情報を共有するためのサービス (X Facebook Instagram LINEなど) です。

チャールズチャップリンの名作「モダン・タイムス」では、人間がオートメーション化された工場の中で、機械的に同じ作業のみを繰り返す労働者を描くことで、人間の感情や人格が無視され、機械に使われる人間の未来を、風刺を込めて描いています。「機械に使われる人間の未来」などは、あまり想像できない人もいるかもしれませんが、今日AI機能が搭載されたソフトが様々な機器で活用される中、チャップリンが危惧したことが、これからいろいろなかたちで弊害として現れてくるかもしれません。

実際、スマホやタブレット等の端末を使ってゲームや動画を長時間利用することを通して、それらに依存するような精神状態になる人がいます。また、スマホを常に携帯していないと落ち着かない人もいます。スマホや携帯電話、タブレット等は私たちの暮らしを大変便利で豊かなものにしてくれました。しかし、それらに依存しすぎることで、私たちの健康に悪い影響を及ぼすことがあるようです。

鹿本小学校では、PTA研修で熊本県教育庁教育政策課の松下指導主事による情報安全出前講座「インターネットの世界から子どもたちを守るために」という演題で講話をしていただきました。また、先週6年生は、NTTドコモの「スマホネット安全教室」を体験しました。私たち大人がフィルタリングをかけずに、子どもたちが自分たちだけでインターネット等を自由に使える環境を与えることが、子どもたちの命を危険にさらすことにつながっていきます。

ご家族の皆様には、なるべく早く必ず家庭でのICT端末（スマホやタブレット等）の活用ルール作りをお願いします。また、もうすでにルールを作られている家庭は、必要に応じて見直しをお願いします。あわせて、フィルタリングの設定ができているかの確認もよろしくお願いします。



授業参観・PTA 研修・学級懇談会お世話になりました

令和7年6月27日（金）に行いました授業参観・PTA 研修・学級懇談会におきましては、保護者の皆様にご多用な中、ご協力いただきましてありがとうございました。

今回の授業参観は、すべての学年で人権教育に関する学習を行いました。鹿本小学校では、今年度も、学校の経営方針の基盤に人権教育を位置づけて、すべての教育活動を通して、人権教育を推進しております。各学年の重点目標は、下記のとおりです。

低学年（1・2年）だれとでもなかよくできる子ども

中学年（3・4年）助け合い、協力し合える子ども

高学年（5・6年）差別をしない、見逃さない、お互いを高め合い、行動できる子ども

この学年の重点目標が実現できるよう教育相談や心のアンケート、人権学習の授業、人権集会等を通して、子どもたちの人権意識を高めることができるように取り組んでいます。

各家庭でも、日頃から家族団らん等を通じて、子どもたちの悩みや不安等を聞いていただき、学校と共有することで、子どもたちの悩み等を解消していきたいと思えます。保護者の皆様のご支援ご協力をお願いします。



授業参観の様子